

日本医史学雑誌 第五十二卷 第二号 目次

原著

作業療法士職の職業形成・専門化過程の研究——作業療法士身分法制定以前の

精神科領域従事者の取り組み及び理念を中心として——

千金方における暈字についての考察

ガレノス『静脈と動脈の解剖について』

——ギリシヤ語原典からの翻訳と考察——

文祿の役（壬辰の乱）における日本、朝鮮、明医学の交わり

研究ノート

ヴェサリウスの父アンドリエスの、神聖ローマ皇帝カール五世による嫡出承認書

ひろば

古医方から蘭方・蘭学へ——江戸時代中期の医療の動き——

キナ渡来伝説の戯曲、ホセ・マリア・ペマン「聖なる副王妃」

資料

手塚良斎「医学所御用留」（九）

追悼

和田和代史先生を偲ぶ

杉立義一先生を偲んで

記事

消息

第五回韓日東洋醫學 SYMPOSIUM
大石良英墓所・顕彰碑落成式

柳田純子……………三六

松岡尚則・山下幸一・村崎徹……………九九

坂井建雄・池田黎太郎・澤井直……………三一

松岡尚則・山下幸一・村崎徹……………三七

泉 彪之助……………二五三

長与健夫……………三〇五

泉 彪之助……………三一

深瀬泰旦……………三五

奥沢康正……………三九

奥沢康正……………三一

松岡尚則……………三四

前山隆太郎……………三五

例会記録
例会抄録

星葉科大学創立者 星一の生涯

齋藤茂吉における病いと老いと

書籍紹介

高島文一著『続・鍼の道 一内科医の熟年』

近藤均著『医療人間学のトリニティー 哲学・史学・文学』

安藤優一郎著『江戸の養生所』

カイプル編、酒井シヅ監訳『疾患別医学史』

I・II・III

岡三田 澤靖美 和雄
三三〇 三三八

末中 利哲 夫
三三六 三三六 三三六
浦瀧新 原澤村 宏行拓
三三九 三三八 三三六

《本号の表紙絵》

魯迅医学筆記

頸胸部後面の動脈の図

(北京魯迅博物館所蔵、東北大学提供)

魯迅(中国名 周樹人)は、1904(明治37年)9月から仙台医学専門学校にて医学を学び、1年7ヶ月で退学し、後に文学に転じた。小説「藤野先生」は、医学生時代のことを扱い、自分の解剖学ノートに克明に添削を施してくれた解剖学の藤野教授に対する敬愛の念があふれている。このノート(魯迅医学筆記)は6巻にまとめられ、北京の魯迅博物館が保管し、国家一級文物に指定されている。ノートの複製が、2005年(平成17年)東北大学に寄贈され、プロジェクトチームにより総合的な研究が始められている。解剖学的内容の研究を、私が分担している。

ここに紹介するのは、藤野が講義した血管学、神経学、局所解剖学を含む第2巻の72頁で、頸胸部の後面の動脈を描いている。黒と赤のインクを用い、表情豊かな線で一気に、驚くほど見事に描かれている。ノートの右端に「注意 此図中訂正スベキモノ数多アリ」という藤野による朱筆がある。

Gegenbaur “Lehrbuch der Anatomie des Menschen” に同種の図がある。藤野が授業中にこの教科書を見ながら板書し、それを魯迅が書き写したものと考えられる。頭が小さく描かれ、細部での差違がかなりある。藤野による添削は、1年生の途中で血管学のノートから始まり、2年生の局所解剖学まで変わることなく続けられている。

(坂井 建雄)